

「神の家族なのです。」 エペソ2章8～19節

神の家族、ということは何を考えるでしょうか。日本人の立派な家族観からすれば、信仰深い、立派な人格と能力を持った模範的な人間の集まりと考えられるかもしれません。

私が初めて聖書を読んだ時、その記述されている人々の赤裸々な人間臭さ、罪深さから、作為的に小説のように作られたものではなく、正確な記録だと感じました。模範的な人間を描くことは、小説としてさえも面白くなく、現実にはありません。

ところが、未だに外観を偽ってこの理想像を追い求める人がおります。日本人クリスチャンの典型的な方であり、外部の人から見たら偽善者、洗脳された宗教者として映るかもしれません。

8節には、「あなたがたは信仰によって救われたのです。」とあり、クリスチャンになったことは、能力や性格が理由ではなく、「神の賜物です。」として、神からのプレゼントであると示されています。「行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。」

選びというのは、優秀だから、良い行いをしたから、などが、普通です。しかし、神の選びは、「私たちは神の作品であって、良い行いをするためにクリスト・イエスにあつて造られたのです。」(10)と、選んだ後に神が私たちを作り上げることに重点が置かれているのです。ですから、クリスチャンになったのは、選びだから、勝手に生きて良いということではありません。ペテロもヨハネも学歴のない漁師だったので、最後には福音書や手紙を書き残してイエス様の教えを神学的体系的に現わす才能を示し、また謙遜かつ高潔な人格を形成しています。

ところが、せっかく選ばれたのに、教えよりも自分の考えを優先して金銭欲を満たしたユダは自殺して滅びる者となってしまいました。選びというものが、私たち自身の意識と行動に左右されて全く異なる結果をもたらしているのです。

神は人間を自由意志を持った存在として創造されました。ですから、選ばれたからといって、神の教えに従わず、勝手に生きる人は、滅ぼされるのです。「粘土が陶器師の手の中にあるように、イスラエルの家よ、あなたがたはわたしの手の中にある。」(エレミヤ18・6)。「わたしの声に聞き従わず、わたしの目に悪であることを行ふなら、わたしはそれに与えると言った幸せを思い直す。」(同10)。

神は私たちが神の子、神の家族になるように選ばれました。その人は、能力のない人もある人も、見栄えの悪い人も良い人も、性格も出身もみな異なりますが、そこから味のある「神の作品」を造り出すのです。それは人を比較し、格付けし、差別して争いを起こそうとするサタンの企みに対する、神の存在を掛けた逆襲なのです。

サタンは、「自分のいのちの代りには、人は財産全てを与えるものです。彼の骨と肉を打つてみてください。彼はきつと、面と向かってあなたを呪うに違いありません。」(ヨブ2・4-5)と神に挑戦しました。もし、自由意志を与えられた人間が、自分勝手に生きるならば、神の義と統御の意義が損なわれていることとなり、サタンをも裁けなくなるからです。

「かつては遠く離れていたあなたがたも、今ではクリスト・イエスにあつて、クリストの血によって近い者となりました。」(13)。多くの人々を見ていて、クリストの十字架の死が自分の罪を赦す為であることを信じ、救われた自分自身を稀な存在だと思えます。

他の人々との間に「隔ての壁」(14)があることを、よく意識します。神を信じて生きている私たちに対する「敵意」(15)が魂を救われた者と救われていない者との間に強く存在します。私自身、魂が救われる前は、単純にイエスキリストを救い主を信じて生きていた人々を、蔑み憐れむような気持ちでおりました。何で神を信じたかと言えば、神の導き、憐れみとしか言いようがありません。ただ、その導きに従って、ここまで信仰を保つてきたこと、いまある「平安」(15,16)を心から「福音」(17)として受け留めています。

そして、多様な形、導きで神の家族に導き入れられた教会員の存在に心から感動しています。まるで様々な素材からなった形の違う陶器が価値あるものとして並べられているようです。

「あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。」(16)。神の国では、ペテロやヨハネだけでなく、トルストイやドフトエフスキー、内村鑑三、弓山喜代馬先生、その他、並みいる聖徒の方々と永遠に交えることができます。

「報いは要らない。」という人々がいますが、それは自己満足の行動と「大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。」とイエス様が言われます。苦しさを乗り越えて神に仕えていくことは、神による慰めと報いが、この地上でもあるのです。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

エペ2:8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

2:9 行いによるものではありません。だれも誇るためのないためです。

2:10 実に、私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。

2:11 ですから、思い出してください。あなたがたはかつて、肉においては異邦人でした。人の手で肉に施された、いわゆる「割礼」を持つ人々からは、無割礼の者と呼ばれ、

2:12 そのころは、キリストから遠く離れ、イスラエルの民から除外され、約束の契約については他国人で、この世にあって望みもなく、神もない者たちでした。

2:13 しかし、かつては遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。

2:14 実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、

2:15 様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において新しい一人の人に造り上げて平和を実現し、

2:16 二つのものを一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました。

2:17 また、キリストは来て、遠くにいたあなたがたに平和を、また近くにいた人々にも平和を、福音として伝えられました。

2:18 このキリストを通して、私たち二つのものが、一つの御霊によって御父に近づくことができるのです。

2:19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

Eph 2:8 For by grace you have been saved through faith, and that not of yourselves; it is the gift of God,

2:9 not of works, lest anyone should boast.

2:10 For we are His workmanship, created in Christ Jesus for good works, which God prepared beforehand that we should walk in them.

2:11 Therefore remember that you, once Gentiles in the flesh—who are called Uncircumcision by what is called the Circumcision made in the flesh by hands—

2:12 that at that time you were without Christ, being aliens from the commonwealth of Israel and strangers from the covenants of promise, having no hope and without God in the world.

2:13 But now in Christ Jesus you who once were far off have been brought near by the blood of Christ.

2:14 For He Himself is our peace, who has made both one, and has broken down the middle wall of separation,

2:15 having abolished in His flesh the enmity, that is, the law of commandments contained in ordinances, so as to create in Himself one new man from the two, thus making peace,

2:16 and that He might reconcile them both to God in one body through the cross, thereby putting to death the enmity.

2:17 And He came and preached peace to you who were afar off and to those who were near.

2:18 For through Him we both have access by one Spirit to the Father.

2:19 Now, therefore, you are no longer strangers and foreigners, but fellow citizens with the saints and members of the household of God,